

「諏訪式。」で考えるコロナ後の世界

新しい幸せを どう作るか？

2021年10月3日(日)
14時～16時30分 ZOOMで開催



コロナで世界が転換期を迎える今、ここから追い求める幸せとは何だろうか？

2020年に発売された、小倉美恵子さんの近著「諏訪式。」で語られる諏訪人の気質は「コロナ危機以後の社会を考える意味で示唆的」とも言われる。何万年も前から、日本が大きく変わる時代に、多くの偉人や企業を輩出してきた諏訪地方。次の幸せに眼差しを向けて、新しい社会をどう作るか、自分たちの中にある「諏訪式。」を再認識し、自分に何ができるかを、見つめてみよう。

CONTENTS

〈はじめに〉東京清陵会会長・校長あいさつ

〈第一部〉これからの時代に必要な「諏訪式。」とは？

『諏訪式。』の著者小倉美恵子さんに本イベントのために行ったインタビュー(収録)を起点に、コロナ後の世に必要な諏訪人氣質を考えます

〈第二部〉私たちが「諏訪式。」で切り拓いてきた道

88回生によるミニ講演会。今まで築いて来た道を語ってもらい、その先にあるコロナ後の新しい社会を展望します

〈第三部〉同窓生と語り合おう！(グループ交流)

オンライン上でグループに分かれて語り合います。
第二部の感想、あなたの中の「諏訪式。」とは？ etc..
年齢、場所を越えた交流をお楽しみください

〈第一部〉

インタビュー(収録)

小倉美恵子さん

作家・映画プロデューサー

『諏訪式。』(亜紀書房)の著者。神奈川県川崎市生まれ。2006年(株)ささらプロダクション設立。2008年、映画「オオカミの護符―里びとと山びとのあわいに」で文化庁映画賞文化記録映画優秀賞、地球環境映像祭アース・ビジョン賞受賞

〈第二部〉

講演者&講演テーマ

木澤義之さん/神戸大学医学部特命教授

緩和ケアで病や死を怖くないものにしたい

―日本にひらく緩和医療の道―

花岡安佐枝さん/eavam共同代表、コンテナ・ラゲージ

事と物の根源へ

―タイで思い出すこと―

野澤 聡さん/獨協大学国際教養学部准教授

三澤勝衛先生との出会いと再会

―「二つの文化」再統合を目指して―



Yoshiyuki Kizawa



Asae Kanaoka



Satoshi Nozawa

お申込み方法

お申込みには3つの方法があります。

1. 会報に同封のハガキにて申し込む (メールアドレスは必ず明記してください)
2. メールにて申し込み (名前、回生を明記してください) tokyoseiry21@gmail.com
3. 専用エントリーフォームにて申し込む (以下の URL にアクセスしてお申し込みください)

<https://forms.gle/tCrrkoGc8ZZmabRS6>

※QRコードからもOK! →



- 参加申し込みの方には追って、当日の接続方法をメールにてご案内いたします(開催の1週間程度前の送信を予定しています)
- 当日、オンラインで参加されない方も、ご意見やメッセージを返信ハガキまたは申し込みメールでお寄せください。当日紹介させていただく場合があります。

イベントについてのお問い合わせは

tokyoseiry21@gmail.com

(当番幹事 88回生)